

2024年3月期 第3四半期 決算説明資料

2024年2月2日



本資料の如何なる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社は一切責任を負うものではありません。

当社グループの事業セグメント

エレクトロニクス事業 (エレキ事業)

プリント基板（PCB）用部材を始めとする電子部品用化学品部材の開発・製造販売及び仕入販売



医療・医薬品事業 (医薬事業)

医療用医薬品の製造販売・製造受託



ICT&S事業^{*1}

ICT事業、ファインケミカル事業、エネルギー事業及び食糧事業等



^{*1}第1四半期連結会計期間より、「その他事業」の名称を「ICT&S事業」に変更しました。
変更はセグメントの名称のみであり、セグメントを構成する子会社に変更はありません。

2024年3月期3Q トピックス

エレキ事業

- 売上高は、累計YoYで4%減少 QoQで2%減少

累計YoYに関する要因

- リジッド：車載関連以外は販売数量減少。特にディスプレイ関連が低調。
- PKG：過去最高水準の前年同期と比較すると、メモリ向け製品を中心に需要が低迷し販売数量減少。

QoQに関する要因

- リジッド：中国地域の顧客による在庫調整の影響を受け販売数量減少。
- PKG：販売数量が増加し、最終需要回復の兆し。

為替の影響

- 円安に推移したことにより業績にプラスの影響
当期期中平均為替レート：1米ドル142.8円
前年同期期中平均為替レート：1米ドル135.4円

医薬事業

- 売上高は、累計YoYで17%増加 QoQで3%増加

累計YoYに関する要因

- 製造受託事業におけるプロダクトミックスの変化や原材料、エネルギー等の価格高騰に伴う販売価格の改定による増加
- アルツハイマー型認知症治療剤「レミニール[®]」の譲受による増加
- 他社同効薬・鎮咳薬等の供給不足に伴う需要の増加

- 株式会社シンプロジェンと業務提携契約の締結

ICT&S事業

- 太陽グリーンエナジーが新たな水上太陽光発電所を開所

連結業績

単位：百万円	①	②	②-①	(②-①)÷①	③	②÷③
	2023年3月期 3Q累計 実績	2024年3月期 3Q累計 実績	前年 同期比	増減率	2024年3月期 通期 業績予想 (11月6日発表)	進捗率
売上高	76,772	78,040	1,267	2%	103,600	75%
営業利益	14,269	14,256	△12	△0%	17,600	81%
経常利益	13,910	13,771	△139	△1%	16,900	81%
親会社株主に帰属 する当期純利益	10,320	10,196	△123	△1%	11,700	87%
円・USDレート	135.4	142.8	7.4		135.0	
EBITDA	20,176	20,871	694	3%	26,600	78%
営業利益率	19%	18%			17%	
EBITDA マージン	26%	27%			26%	

セグメント別業績（セグメント別売上高・営業利益・EBITDA）

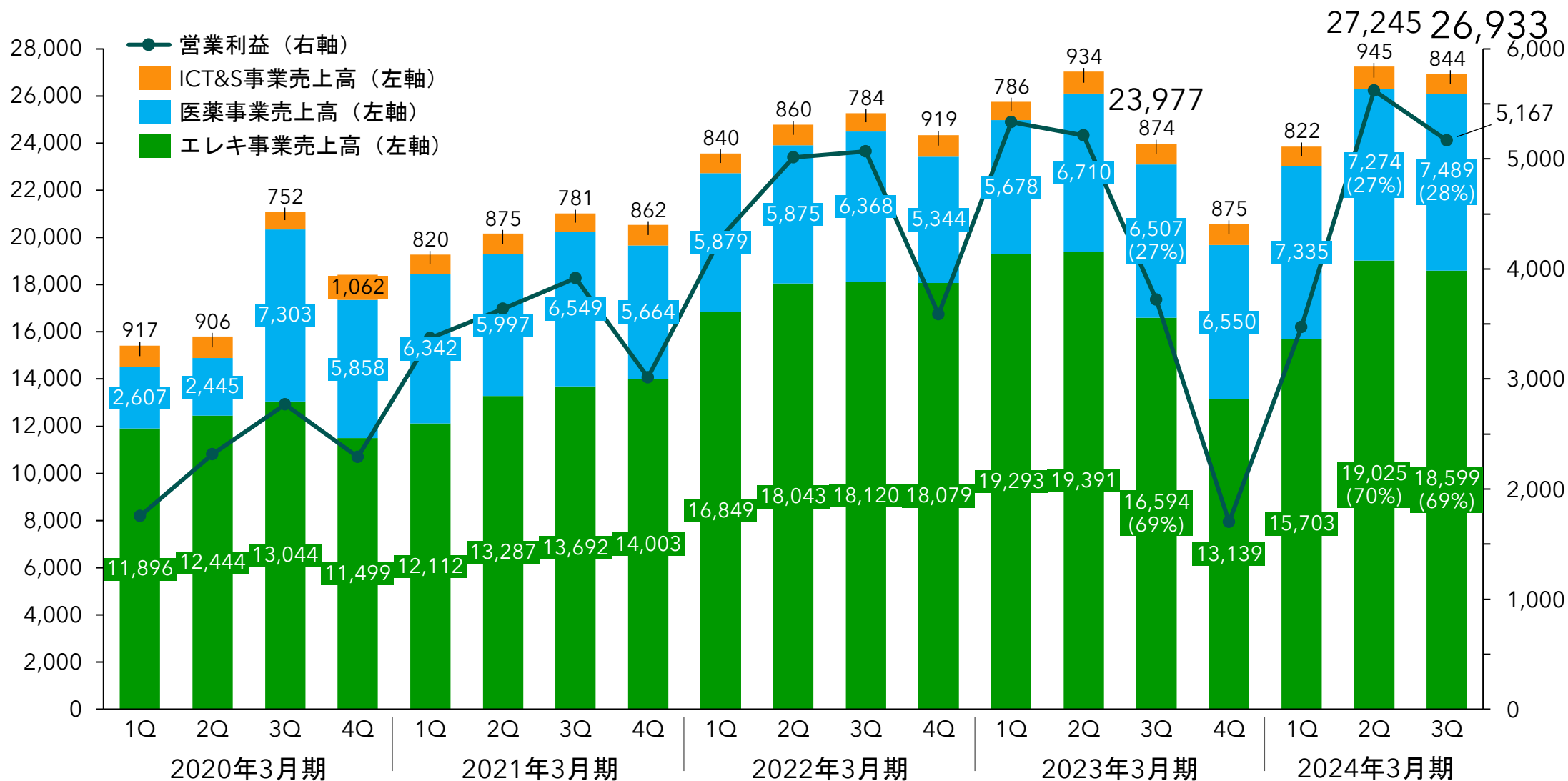
		①	②	②-①	(②-①)÷①	③	②÷③
単位：百万円		2023年3月期 3Q累計 実績	2024年3月期 3Q累計 実績	前年同期比	増減率	2024年3月期 通期業績予想 (11月6日発表)	進捗率
エレキ 事業	売上高	55,279	53,329	△1,950	△4%	70,800	75%
	営業利益	14,159	12,359	△1,800	△13%	16,300	76%
	営業利益率	26%	23%			23%	
	EBITDA	16,006	14,378 ^{*2}	△1,627	△10%	18,900	76%
	EBITDAマージン	29%	27%			27%	
医薬 事業	売上高	18,896	22,098	3,202	17%	29,100	76%
	営業利益	1,389	2,877	1,488	107%	2,800	103%
	営業利益率	7%	13%			10%	
	EBITDA	4,719	6,832	2,113	45%	8,200	83%
	EBITDAマージン	25%	31%			28%	
ICT&S 事業	売上高	2,596	2,612	15	1%	-	-
	営業利益	1	47	46	3,991%	-	-
	営業利益率	0%	2%			-	-
全社費用	営業損益	△1,280	△1,027 ^{*1}	252		-	-

*1 第1四半期においてのれんの計上金額を変更したことにより、過年度ののれん償却額を修正しました。

*2 第1四半期エレキ事業のEBITDA及びEBITDAマージンについて、エレキ事業に配分すべき償却費が全社費用に計上されていたため次のように修正いたしました。EBITDA：3,284百万円 EBITDAマージン：21%

四半期別推移（売上高・営業利益）

単位：百万円



BSの概況

BS前期比較

単位：百万円

	23/3末	23/12末	増減		23/3末	23/12末	増減
現金及び預金	47,121	49,806	2,685	支払手形及び買掛金	6,513	10,496	3,982
受取手形及び売掛金	22,734	27,548	4,813	短期借入金 ^{*2}	18,327	41,248	22,921
棚卸資産 ^{*1}	14,976	17,147	2,170	長期借入金	53,174	38,953	△14,220
上記以外	5,217	5,782	564	上記以外	16,508	13,425	△3,083
流動資産合計	90,050	100,284	10,233	負債合計	94,523	104,123	9,600
有形固定資産	60,401	64,348	3,946	株主資本	86,098	91,660	5,561
無形固定資産	29,170	31,120	1,950	その他の包括利益 累計額	6,637	8,777	2,139
投資その他の資産	7,640	8,812	1,171	非支配株主持分	3	4	1
固定資産合計	97,212	104,281	7,068	純資産合計	92,739	100,442	7,702
資産合計	187,263	204,565	17,302	負債純資産合計	187,263	204,565	17,302
				自己資本比率	49.5%	49.1%	△0.4%

*1 棚卸資産：商品及び製品+仕掛品+原材料及び貯蔵品

*2 短期借入金：短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

エレクトロニクス事業

エレクトロニクス事業

用語説明

用語	内容
PCB (Printed Circuit Board)	プリント基板
SR (Solder Resist)	ソルダーレジスト（レジストインキ）
PKG (Package)	半導体パッケージ
DF (Dry Film)	ドライフィルム
BU (Build-up)	ビルドアップ

エレクトロニクス事業

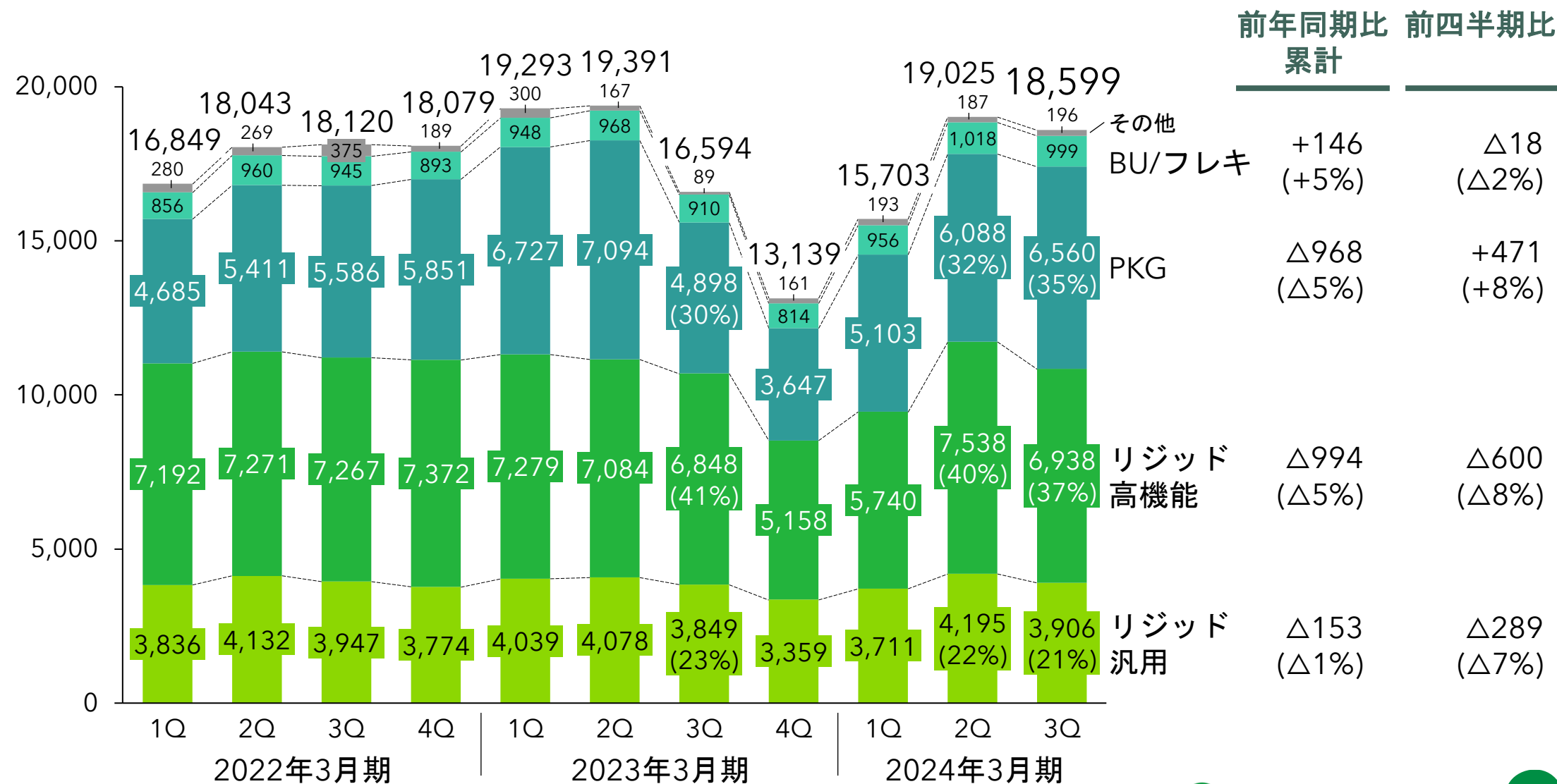
製品分野

分野	分類		性状	用途
PCB用 絶縁材料	リジッド	汎用品	液状	表層保護・絶縁用SR材料 マーキング・エッチング・めっき用材料 電子機器用材料 等
		高機能品	液状／DF	
	PKG		液状／DF	
	フレキ		液状／DF	
	BU		液状／DF	
その他 関連商材	その他		液状／DF	導電性銀ペースト 等

エレクトロニクス事業

製品別売上高

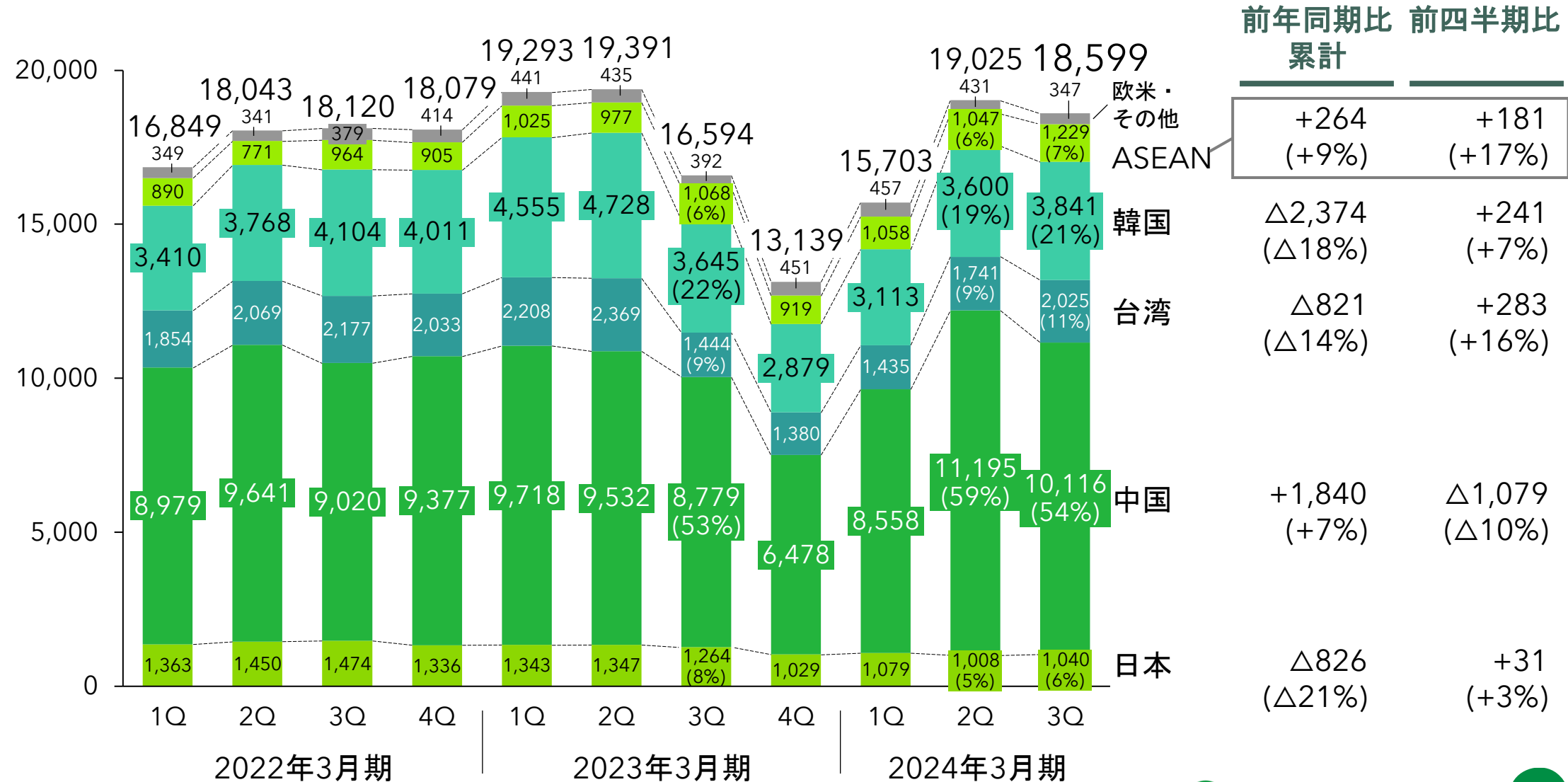
単位：百万円



エレクトロニクス事業

販売地域別売上高

単位：百万円



医療・医薬品事業

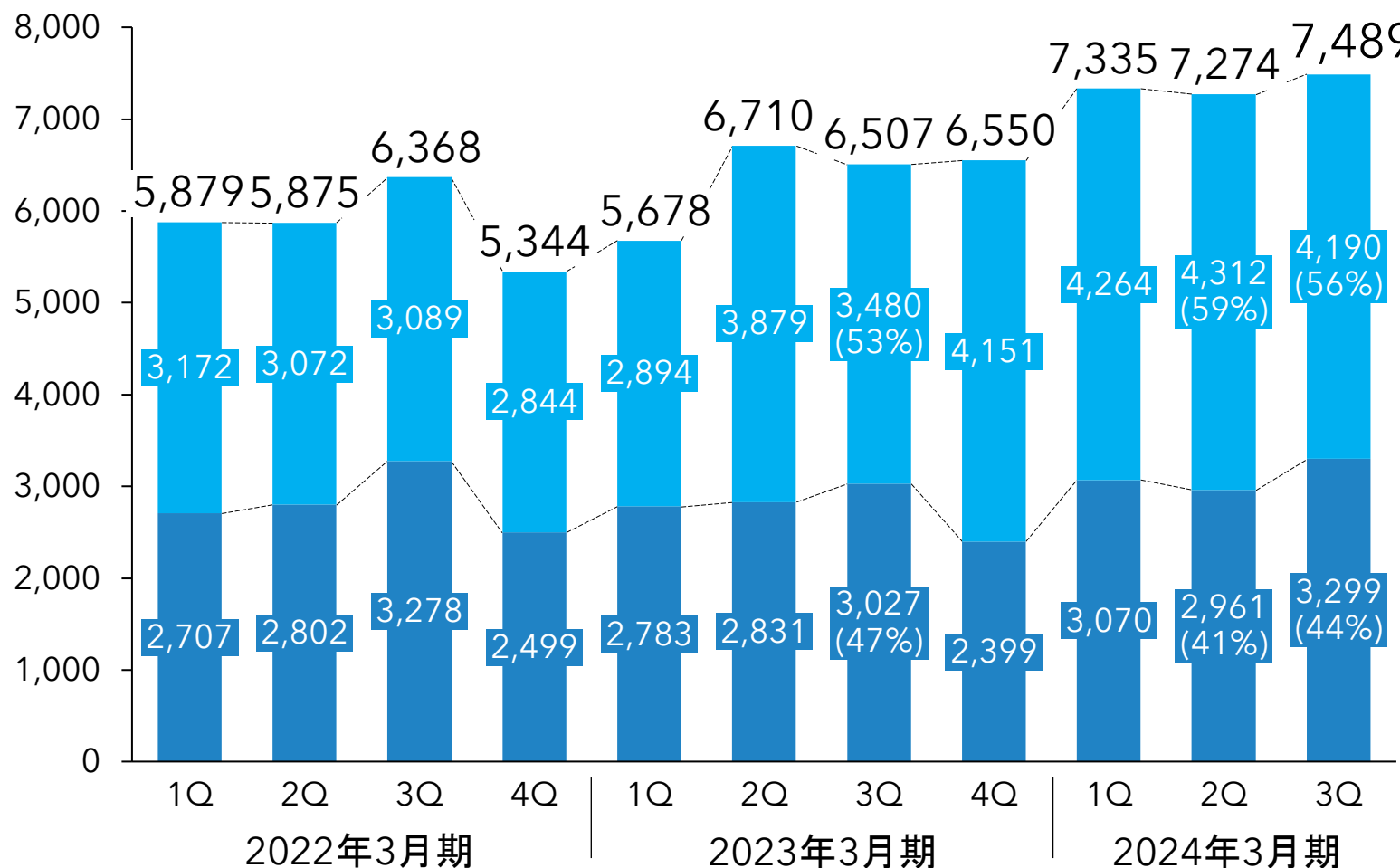
用語説明

用語	内容
長期収載品	新薬として発売された後に特許期間もしくは再審査期間が終了し、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の販売が可能となっている先発品
CDMO	医薬品製造及び医薬品製剤開発を受託する機関 (Contract Development Manufacturing Organization)
GMP	医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準 (Good Manufacturing Practice)

医療・医薬品事業

会社別売上高

単位：百万円

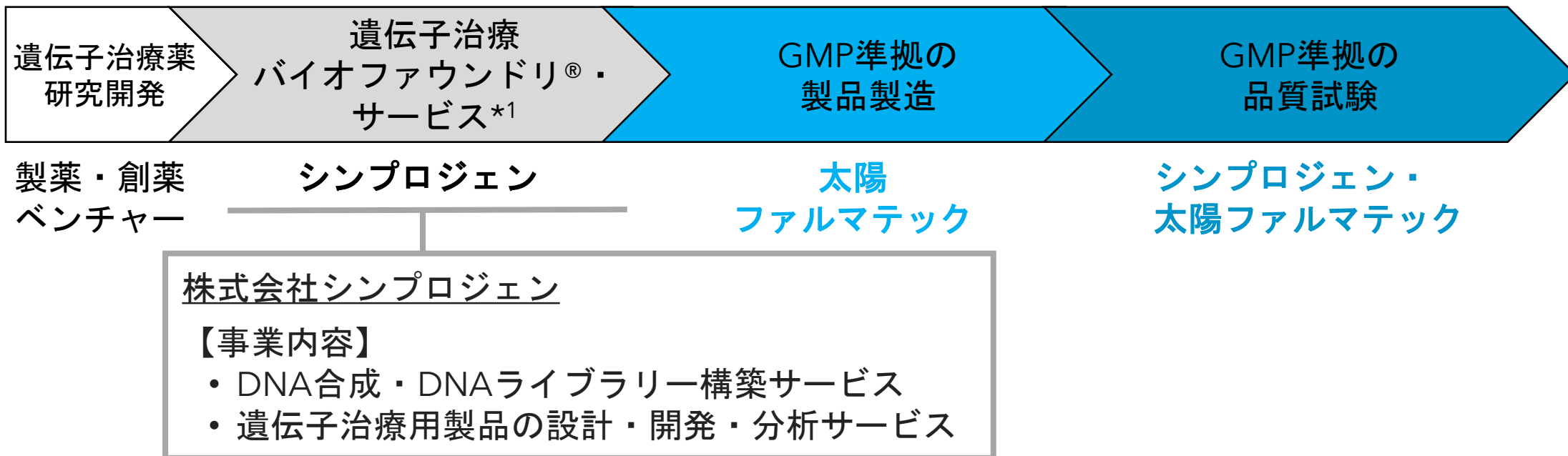


	前年同期比 累計	前四半期比 累計
医薬事業 全体	+3,202 (+17%)	+215 (+3%)
太陽 ファルマ テック (製造受託)	+2,512 (+25%)	△121 (△3%)
太陽 ファルマ (製造販売)	+689 (+8%)	+337 (+11%)

株式会社シンプロジェンと業務提携契約の締結

- ✓ 太陽ファルマテックは神戸大学発バイオベンチャーである、株式会社シンプロジェンと業務提携契約を締結しました。
- ✓ 本提携を通じて、遺伝子治療用製品の設計・開発からGMP（GCTP）製造に至る、少量・多品種製造にも機動的に対応可能な一貫したバリューチェーンを日本国内に構築することで、画期的な遺伝子治療用製品の実用化に貢献していきます。

遺伝子治療用製品開発のバリューチェーン



*1 「遺伝子治療バイオフィアウンドリ®・サービス」は、独自のDNA合成技術を活用した遺伝子治療用ウイルスベクターやmRNAの設計・開発・分析サービス



ICT&S事業

太陽グリーンエネルギー 新たな水上太陽光発電所を開所

- ✓ 太陽グリーンエネルギーは、国内16カ所目となる水上太陽光発電所を大阪府泉佐野市に開所し、太陽グリーンエネルギー初となるオフサイトコーポレートPPA事業*1を開始しました。
- ✓ 発電した再エネ電気は、泉佐野市が拠出するPPS(特定規模電気事業者)である一般財団法人泉佐野電力を通じて、泉佐野市の公共施設等に供給されます。

水上太陽光発電の概要

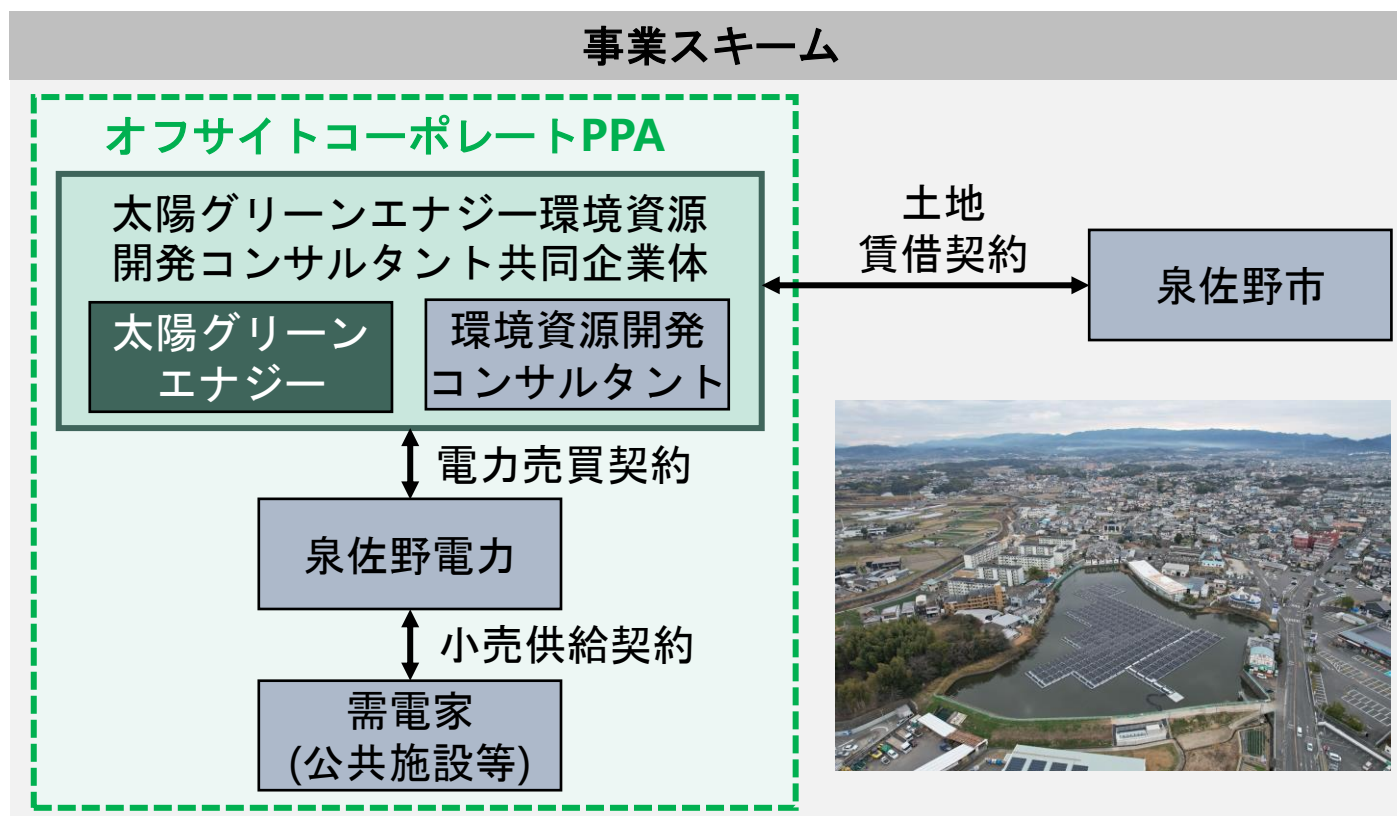
【名称】 庄田池水上太陽光発電所

【所在地】 大阪府泉佐野市鶴原

【開所日】 2024年2月1日

【発電規模】 約1,032kW

【想定発電量】 約1,313千kWh/年
(初年度12ヵ月換算)



*1 電力需要施設と離れた場所に太陽光発電システムを導入し、発電した電気を送電ネットワークを經由して電力需要施設に送る電力購入契約

